
転生者の波乱生活

A・O・Jカタストル

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

転生者の波乱生活

【Nコード】

N2874Z

【作者名】

A・O・Jカタストル

【あらすじ】

俺は遊戯王GXの世界に転生したらしい。そして俺に性格がまったく違う精霊がついた。これからの生活はどうなるのか……？シンクロありエクシーズもできれば出したいと思っています。オリカも出ます。よろしく願います。

始まり（前書き）

0話

今回は決闘なしです。大輝の精霊が登場します。

始まり

今、俺、まじはらひるあき松原大輝は入学試験を受けるため決闘アカデミアにいる。何でも最近まで現実世界でいたのにGXの世界に転生したらしい。そして、今クロノスと十代が決闘している。

「フレイムウイングマンで古代の機械巨人を攻撃！！スカイスクレーパーの効果で攻撃力は1000ポイントアップするぜ！！スカイスクレーパーシユート！！この瞬間
フレイムウイングマンの効果発動！！破壊したモンスターの攻撃力分のダメージを与えるぜ！！」

「ペペロンチーノ」

「ガツチャー！！楽しい決闘だったぜ！！」
十代が勝ったみたいだな。

「???」
「マスター、彼、恐ろしいドローク力を持っていますね。???」
「大輝も決闘したら負けるかもね」
俺のことをマスターと呼ぶおとなしい性格の薄緑の髪の少女がガスタの静寂カームで大輝と呼ぶ活発な性格の赤い髪の少女がリチュア・エミリアだ。今は俺以外には見えてないが実体化もできるらしい。しかし、この二人はいつ見てもかわいいな…それとエミリア、確かにお前には同意見かもしれない。十代のチートドロークは異常だからな。

エミリア「大輝、呼ばれたよ。」
試験官に呼ばれたらしい。

「ああ、いつてくる。」

カーム「頑張ってくださいね！！」

ステージに上がるとクロノスがいた。

「シニョール松原には

ワタクシ自らが直々に相手するノ〜ネ（グフフ、圧倒的に倒して汚

名返上なノ〜ネ」

どうせクロノスのことだから十代の汚名返上とか考えているんだろ。

「では始めるノ〜ネ。」

「決闘!!」

始まり（後書き）

エミリア『大輝の

精霊のリチュア・エミリアと、』カーム『ガスタの静寂カームです。
よろしく願います。』

エミリア『次回はクロノスとの決闘ね』

カーム『古代の機械は大型モンスターと伏せカードを封じる効果
が厄介ですね。マスター頑張ってください。』

VSクロノス（前書き）

クロノスとの決闘です。シンクロ召喚の初登場です。

V S クロノス

「先行はシニョールにゆずるノ〜ネ。」

「分かりました、俺のターン、ドロ〜！（チツ：手札が悪いな…。）俺は魔轟神クルスを攻撃表示で召喚する。ターンエンド。」
大輝の場に悪魔の少女が現れる。

「???」彼、少し迂闊ね。攻撃力が低いモンスターを攻撃表示、

しかも伏せカード無し。期待外れだったかしら。」

「???」さあな…だが何やら考えはありそうだ。」

「???」彼は一体何がしたいんだ!？」

「???」(かわいいモンスターが現れたっすね。)でも攻撃力1000じゃあすぐにやられてしまうっすよ。」

「???」何をするつもりなんだあいつ?わくわくするな。」

聞こえてますよ皆さん、上から明日香、亮、エアーマン、翔、十代だろ!!カームとエミリアも近くで応援してくれているな。まああの二人は知っていると思うがクルスを攻撃表示で出したのは手札事故とフィールドアドバンテージをとるためだ。まあ見てろ。

「ワタシのターン、ドロ〜ニヨ!!!（魔轟神…?見たことないカードなノ〜ネ。ここは一気にいくノ〜ネ。）ワタシは二重召喚を発動するノ〜ネ。このカードの効果でこのターン二回通常召喚できるノ〜ネ。ワタシはトロイホースを召喚するノ。トロイホースは地属性モンスターの生け贄召喚に使用される場合、一体で二体分として扱うことができるノ〜ネ。トロイホースを生け贄に捧げ、古代の機械巨人を召喚するノ〜ネ。古代の機械巨人で魔轟神クルスを攻撃!!!アルティメットバウンド!!!」

「この瞬間、手札のオネストの効果発動!!!光属性が戦闘を行う

場合、このカードを手札から捨てることで相手モンスターの攻撃力分そのモンスターの攻撃力がアップする。「何でス〜ト!」迎撃しろ!!魔轟神クルス!」

古代の機械巨人が破壊される。

古代の機械巨人

攻撃力3000

魔轟神クルス 攻撃力4000

クロノスLP3000

「グヌヌ……ターンエンドなノ〜ネ。」

かなり悔しそうな顔をするクロノス、そりゃ切り札が攻撃力1000のモンスターに破壊されたからな……。

「俺のターン、ドロ〜!!」よし、このターンで決める!!

「俺はチューナーモンスター、魔轟神レイヴン召喚!!」

「「チューナーモンスター!?!?!」」

やはり知らないようだな。

「チューナーとはシンクロ召喚に必要なモンスターで所謂スピリットやトウーンと同じような扱いと思っして下さい。そしてシンクロ召喚とは制約があるものもありますが基本的にチューナーとチューナー以外のモンスターを1体以上場からリリ、生け贄にすることでそのレベルの合計と等しいシンクロモンスターをエクス、いや融合デッキから特殊召喚します。まあ融合とよく似たものだと思っして下さい。」

「よく分かった

ノ〜ネ。」

「今からそれを見せますよ。魔轟神レイヴンの効果発動!!手札を任意の枚数捨てることでその枚数×300ポイント攻撃力がアップしレベルもあげる。俺は3枚捨てる!!さらに捨てられた暗黒界の武神ゴルド2体の効果発動!!手札からカードの効果により捨てられた場合、特殊召喚する!!レベル5の魔轟神レイヴンにレベル5のゴルドをチューニング!!混沌の光の魔王よ今ここに降臨せ

よ！！魔轟神レヴユアタン！！レヴユアタンでダイレクトアタック
！！」

魔轟神レヴユアタン

攻撃力3000

「ペペロンチーノオ！！」クロノスLPO

sideカーム&エミリア

『予想通りマスターが勝ちましたね。』

『じゃあ早く大輝のところに戻りましょ。』

side十代

「（すげえ、すげえよ。シンクロ召喚！！早くあいつと決闘したいぜ！！）」

明日香side

「（何て奴なの！？クロノス先生に勝つなんて！！それにシンクロ召喚なんて一度もみたことないわ！！……………そしてもう一つ気になるのは私の近くにいた赤い髪と緑の髪の女子。制服を着てなかったし女子寮にもそんな子いなかったわ……………。他の皆は試合に夢中で気がついてなかったらしいけど…。彼女達は何者なの？）」

試験後

「お前ら実体化してただろ！！」

『ギクツ！？』

「皆気づいてなかったが俺には分かった。」

『駄目ですか（なの）』ウルウル

「涙目で見なくても多少目立ってもいいなら別に実体化くらいは

問題ないさ。」

『『マスター（大輝）』』

そうやって抱きついてくる精霊達。実体化してるのでいろいろ当たってます。まあこうした生活も悪くないしいつも世話になってい
るから彼女達の要望も少しは聞いてやらないとな。

vsクロノス（後書き）

クロノスとの決闘でした。

エミリア『今回は大輝は魔轟神を使っていたわね』

カーム『魔轟神は手札から捨てられたときに発動するものが非常に多いため、ハンデスに強いです。また、効果の性質上、暗黒界と組み合わせるのもアリですね。』

今回はブルーとの決闘です。精霊の彼女達も決闘します。

精霊（前書き）

今回は決闘がありません。また、三幻神、三幻魔、三邪神、ネオス系、Dヒーロー、宝玉獣は使えない設定でお願いします。（地縛神は普通に使え、影響を与えないものとします。）

精霊

クロノスとの決闘後、結果がきた。結果は合格……それはいいんだがオシリスレッドだった。おそらくクロノスの仕業だろう。クロノスめ……。

そして今はアカデミアへの船に乗っている。皆がジロジロ俺を見ているんだが……なるほど、今の現状なら納得だ。だって俺の両脇にカームとエミリアが実体化しているんだもん。そりゃ制服も着てない女の子がいたら不思議に思うよな。

カーム『マスター、周りの視線が凄いですね、一旦カードに戻りましょうか？』

カームが聞いてきた。

エミリア『やっぱり戻ったほうがいいかもね……これ以上迷惑かけたくないし……』

エミリアもそう言っている。そんな悲しそうな顔するなよ。

「別にお前達がいたけりゃいいいさ。俺は問題ないよ。」

カーム『マスター／／／／』

エミリア『大輝／／／／』

「カーム、エミリア／／／／」

やべ、こいつらかわいすぎる……！

???『お〜い！お前だよな魔轟神とかいうモンスターを使ってクロノス先生に勝ったのは……！』

出たよ十代……！十代、空気読んでくれ……！せつかくいいムードだったのに。

「ああ、そつだが、お前は十代だよな！？俺は松原大輝だ。大輝と呼んでくれ……！」

「知っていたのか……！宜しくな……！そつちの女の子達は？」

「俺の精霊だ。実体化している。」
カーム「私はガスタの静寂カームです。カームと呼んで下さい。
宜しく願います。」

「私はリチュア・エミリアよ エミリアでいいわ!! 宜しくね!
!」

「おう、二人とも宜しくな!! さて、大輝、決闘しようぜ!」

どうしてそうなる!? なんで自己紹介の後の第一声がそれなんだよ!! どれだけ決闘バカなんだ!!

「悪いな、今疲れていてな。また後でやろうぜ!!」

「チエ! 分かったよ。絶対だぜ!!」

そうこうしているうちに島についた。そして寮についたのだが…

…ボロい、ボロすぎる!! こんなところで生活しようというのか!!

「じゃあな、大輝! 後で決闘な!!」

「ああ、分かった。」

こいつは決闘さえあれば疲れも忘れるのか!?

仕方ない、俺達も休むとするか。

しばらく休んでいたら予想通り十代がやってきた。

「大輝!! 決闘やろうぜ!!」

はあ、分かったよ。まあ約束したしな。

「よし、決闘場いくぞ十代!!」

カーム「マスター、私達はもう少し休んでますね。」

エミリア「留守番は任せて!!」

「ああ、行ってくる。」

決闘場についたはいいが、なんかブルーの連中が威張り散らして

いる。 「邪魔だ邪魔だ!!ここはお前達のようなドロップアウトが使う場所じゃないんだよ!!」

「ブルーだからって威張るなよ…。威張ることしかできないのか!?!」

「何だと!? 貴様、決闘だ!! 格の違いを教えてやる!!」

何で十代と決闘してきたのにこいつと決闘しなけりゃならんだ。仕方ない、やってやる。そして構えた時、

??? 「お前達、何をしている!?!」

万丈目か。

「万丈目さん、こいつらが勝手に使おうとしていたんすよ!!」
ブルー生徒が説明する。

「何!?! だつたらだつたら決闘し

??? 「あなた達、ここで何をしているの!?!」

天城院君!?!」

万丈目「いやあ、こいつらにブルーの実力を見せてやるうと思つてね…」 「もうすぐ歓迎会が始まるわよ。早く戻ったほうがいいわ。」

万丈目は渋々取巻きを連れて帰った。

「あなた達も彼らに関わらないほうがいいわ。彼らの実力は本物よ。」

「チツ、せっかく新デッキの実験台になつてもらおうと思つたのに。十代、帰るぞ!!」

帰り道

「チエ、決闘したかつたな」

安心して下さい。今夜できるから。

??? 「アニキ!! どこに行っていたんすか?」

この水色は丸藤翔か。

「おう、翔!! ちよつと呼び出し喰らつてな。紹介するぜ、大輝、

友達の翔だ。」

「松原大輝だ、宜しくな。」

「あのシンクロ召喚とかいう不思議なモンスターを使った人ツスね。宜しくツスー!!」

こうして翔にシンクロ召喚について説明しながら帰った。

寮

エミリア「ねえ大輝、私達も決闘していいかな?」

突然そんなこという精霊達。答えは決まっている。

「ああ、別に構わない。」

俺は部屋にある大きな段ボール箱を持ってきた。

「やり方はいつも見ていたから知っているだろ。必要ならアドバイスをやる。」

カーム「マスター、ここはどんなモンスターを入れたらいいでしょうか。」

「ここは墓地絶やしができるこいつがオススメだな。あとはリクルーターも入れておけばいいかも。」

エミリア「ねえ、大輝…魔法カードなんだけど…。」

「相手を弱体化させるならこのカード、自分を強化するならこのカードはどうだ!?!」

そうしてカームとエミリアのデッキは完成した。

「よし、今から二人で決闘…(pppp!!)メールだな。」

(やあ、ドロップアウトボーイ!シンクロモンスターとやらをか
けてアンティールで勝負といこうか。十代と明日の朝決闘場に来
い!!--)

万丈目だな。さてよ……

「カーム、エミリア、明日決闘万丈目達と決闘するんだが来るか！？」

カーム『行きます。』

エミリア『デッキを試したいしね！』

よし、万丈目に取り巻きを後二人用意しろと送っておいた。

あとは…

「大輝！！いるか？」

十代が来たか。さっき呼び出ししておいたのだ。

「どうしたんだ？呼び出したりして。」

「万丈目からメールがきただろ？」

十代はうなずく。

「その前に十代に渡ししておきたいものがあってな、こいつらはお前なら使いこなせるだろう。」

俺は十代にエアーマン、オーシャン、フォレストマン、ザ・ヒー
ト、ジ・アース、ガイア、シャイニング、zero、great
ornado

、ノヴァマスターを三枚ずつ渡した。

「すげえ、ありがとうな！！大切に使うな！！」

「カームとエミリアも決闘するようになったんだ。デッキ調整もかねて練習相手になってやってくれ。」

「おう、任せとけ！！決闘だ！！」

カーム『負けませんよ！！』

エミリア『負けないわよ！！』

こうして4人は決闘を楽しんだ。

精霊（後書き）

次回万丈目達との決闘です。

カーム『ついに私達も決闘できますね。』

エミリア『これも大輝のおかげだね！！』

ちなみに彼女達はガスタ、リチュアデッキではありません。了承
下さい。

キャラクター紹介（前書き）

今回はキャラクター紹介です。

キャラクター紹介

松原大輝

(まつばらひろき)

15歳

現実世界でカードショップに行っているときに転生してしまった。薄い茶髪で中々のイケメン。道に落ちていたガスタの静寂カームのカードとリチュア・エミリアのカードを引き取ったため、精霊がついた。

精霊達に好意を持たれているが、大輝も彼女達に好意を持っている！？

カーム

(ガスタの静寂カーム)

15歳

リチュア・エミリアとともに道に捨てられていたところを大輝に引き取られた。緑色のポニーテールのおとなしい性格で常に敬語。大輝に対して好意を抱いている。最近実体化している。エミリアとは親友である。

エミリア

(リチュア・エミリア)

15歳

ガスタの静寂カームとともに道に捨てられていたところを大輝に引き取られた。赤いツインテールに黒の魔法帽子をかぶっている。

活発な性格でカームとは正反対である。カーム同様、大輝に好意を抱いている。カームとは親友である。

キャラクター紹介（後書き）

今回はv s万丈目& a m p・ブルーです。キャラごとに章を分けます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2874z/>

転生者の波乱生活

2011年12月13日02時20分発行